



SUBARU NET 昂ネット

創刊号

2017.5

Contents

- ・理事長あいさつ
- ・日野記念病院
- ・湖東記念病院
- ・東近江市立能登川病院
- ・介護老人保健施設リスタあすなろ
- ・訪問看護ステーションひの
- ・昂会看護部
- ・新任医師の紹介



思いやりと感性にあふれた医療で地域社会の信頼に応えよう



医療法人社団 昂会



理事長のあいさつ



医療法人社団昂会 理事長
相馬 俊臣



新しく昂会の情報誌の発刊を記念して一言、今年で設立33年目を迎える当会では2年前に指定管理者となった市立能登川病院も含め、東近江市、日野町にて三ヶ所の特化型急性期病院を設置いたすこととなりました。それぞれの病院の特徴や現況等について滋賀の皆さまに内部の詳しい情報をお伝えする責任が医療機関にはあると思います。自分の命を預けるのですからセカンドオピニオン、サードオピニオンを求めるのは当たり前の行動です。それらの参考の対象となる医療機関づくりに邁進していく覚悟を医師はじめ全職員に抱いてもらうよう引き続き努力いたします。

ネットワーク



湖東記念病院
心臓血管センター
滋賀ガンマナイフセンター
脳神経外科センター



日野記念病院
滋賀脊椎センター

救急医療



東近江市立能登川病院

連携

専門分野の診断、治療、
セカンド、
サードオピニオン



介護老人保健施設 リスタあすなろ
居宅介護支援事業所



訪問看護ステーション ひの



日野記念病院

HINO MEMORIAL HOSPITAL



院長のあいさつ

花澤 一芳



地域医療構想の中での現況と今後

日野記念病院は開院して33年目を迎えます。地域医療の急性期から回復期・維持期、慢性期の体制を整えた病院であります。特に外来部門は内科（消化器、循環器、糖尿病、総合診、呼吸器）、滋賀脊椎センター、整形外科、消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科、小児科、脳外科、泌尿器科、美容外科、形成外科、婦人科、放射線科、麻酔科等充実しており、全国的な地域医師不足にも拘わらず当院では地域のニーズに応えるべき日曜日、祝日を除き診療にあつて居ります。透析（外来・入院）健診部門にも力を入れております。

さて日野町の人口は、2017年4月1日現在21757人であり、65歳以上が28.7%を占めます。県下の栗東市を除き13市町村がその25%以上となっており、日野町が特に高齢化しているというわけではありません。日本全体に共通した医療経済、保険・医療・介護・福祉制度の問題であります。（もちろん地域特性もありますが）

現在の病床機能報告制度に基づいて、やがては自主的に医療機能を判断する（病床数を減ずる）、または機能転換（高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4機能）、即ち2025年までに病床数を全国で34万床削減しても医療のニーズを満たせると国は考えています。しかしながら東近江医療圏に属する日野記念病院はもうすでに自主的な医療機能の分化・連携をすすめており（能登川病院、湖東記念病院）収れんした段階に現在あると考えております。今後も地域の人々の健康を守る全人的な医療機関であることはもちろん、専門性の高い診療の提供と信頼を得られる病院として努力して参ります。受診（健診）される皆様のご理解とご支援を引き続きお願い申し上げます。

疾患トピックス

【消化器のがんについて】

外科 院長代行
仲 成幸



厚生労働省の人口動態統計によると、1981年よりがんによる死亡者数は他の病気や原因を上回り第1位となり、現在では年間約37万人、約3人に1人ががんで亡くなっています。また、がんの部位別に見ると、国立がん研究センターによる2016年の予測値では「肺」が最も多く7万7300人、次いで「大腸」5万1600人、「胃」4万8500人、「膵臓」3万3700人、「肝臓」2万8100人が亡くなっています。男女の別では男性は肺、胃、大腸、肝臓、膵臓の順。女性は大腸、肺、胃、膵臓、乳房の順となっています。一方、がんの罹患数(がんと診断される数)の2016年の予測値は、101万200例と初めて100万人を超え年々増加しています。部位別では、「大腸」が最も多く14万7200例、次いで「胃」13万3900例、「肺」13万3800例、「前立腺」9万2600例、「乳房(女性)」9万例となっています(図)。男性の部位別では、前立腺、胃、肺、大腸、肝臓の順。女性の部位別では、乳房、大腸、肺、胃、子宮の順となっています。がんによる死亡者数と罹患数の順位が異なるのは、がんの部位により生命予後が異なるためです。このような現状の中、がん対策は政府の最も重要な施策の一つとなっています。消化器外科は食道、胃・十二指腸、小腸、大腸(結腸、直腸、肛門を含む)、虫垂等の管腔臓器、肝臓、脾臓、胆道、膵臓等の実質臓器や腹膜などの腹腔内病変を対象としており、これらの疾患に対する外科診断、外科治療をおこなっています。先に述べたように大腸癌、胃癌、膵臓癌、肝臓癌は罹患率、死亡率ともに上位にあり消化器外科で扱うがんです。各々の特徴を簡単に説明致します。

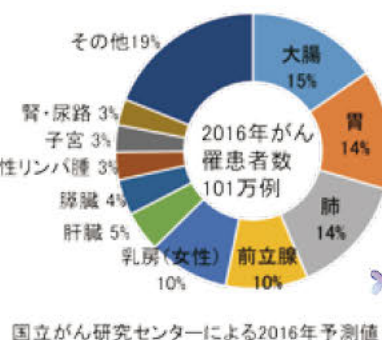
大腸がん：大腸は約2mの長さがあり、結腸で腸内容の水分を吸収して大便を作り、最後の15cm程度の長さの直腸が大便を貯め排泄する役割を担っています。大腸がんが増えているのは、飲酒、赤肉やハム・ソーセージなどの加工肉の摂取増加などの食生活の変化や肥満が要因の一つと考えられています。また家族性大腸腺腫症、遺伝性非ポリポーシス性大腸がん(リンチ症候群などの遺伝によるもの)もあります。症状としては便秘や下痢を繰り返したり、便に血が混じったり、便が細くなるなどといったものがあります。大腸がんを早期に発見する方法の一つとして便に血が混じっているかどうかを調べる便潜血検査が有効です。何らかの症状があるときは大腸内視鏡検査をする場合もあります。治療は病状に合わせて、大腸カメラによる治療、外科手術、抗がん剤治療が行われます。当院外科では外科手術による大腸切除では殆どの症例で負担の少ない腹腔鏡下大腸切除術を行っています。また必要に応じて抗がん剤治療も行っています。

胃がん：胃は摂取した食べ物を胃袋に貯めて物理的に碎いたり胃酸でどろどろにします。胃がんは塩分の過剰摂取が要因の一つと言われていましたが、近年減少傾向にあります。ヘリコバクターピロリという細菌が胃がんの発生に関与しており、除菌療法が効果があります。胃がんは早期にはほとんど症状は無く、進行すれば胃の不快感や痛み、食欲不振などの症状が現れます。胃のX線透視検査や胃内視鏡による検診が有効です。治療は病状に合わせて、胃カメラによる治療、外科手術、抗がん剤治療が行われます。当院外科では外科手術による胃切除では、負担の少ない腹腔鏡下胃切除術も行っています。また、胃切除の際に腹腔内を42度に温めた生理食塩水に抗がん剤を混ぜて洗う、腹腔内温熱化学療法を行い高い治療効果を上げています。必要に応じて抗がん剤の全身投与も行っています。

膵臓がん：膵臓は胃の裏側にあり、消化液を分泌する働き(外分泌)と血糖を下げるインスリン等のホルモンを分泌する働き(内分泌)を持っています。膵臓がんは増えていますが、糖尿病、慢性膵炎や肥満が危険因子として挙げられている他、喫煙も関与が指摘されています。膵臓がんは初期には症状が無いことが多く、臓器の場所も診断を困難にしている理由の一つです。進行すると、腹痛や背部痛、膵頭部にできた場合は黄疸を来すことがあります。当院外科では、病状に合わせて、外科手術、抗がん剤治療、放射線治療または各々を組み合わせで行なっています。

肝臓がん：肝臓は右上腹部に肋骨に囲まれるようにあり、体重の約2%程度の重さがあります。消化管で吸収された栄養分を必要な物質に変えたり、有害物質の解毒や排泄など500種類以上にも及ぶ化学反応により体にとって重要な働きを担っています。一般的に肝臓がんと言えばこれらの働きを担っている肝臓の細胞から生じる肝細胞癌を指し、他の臓器のがんが転移した転移性肝癌と区別しています。肝臓がんは80%がC型肝炎やB型肝炎の感染を原因とするもので、残りはアルコール性肝炎や近年増加している脂肪肝炎などを原因としています。肝がんの予防にはこれらの肝炎を適切に治療することが重要です。肝臓がんには通常症状は無く、血液検査の異常を契機として超音波検査や腹部CT検査により発見されることが多いです。治療は、病状に合わせて手術による切除(肝切除)、がんに対して直接針を刺して焼灼(ラジオ波焼灼等)する局所凝固療法、カテーテルによる治療、抗がん剤の投与、放射線治療、肝移植が選択されますが、主に肝切除、局所凝固療法、カテーテル治療が選択されることが多く、当院外科でもこれらの治療法を適切に選択するようにしています。

がんの患者さんは増加していますが、治療法の進歩も目覚ましく治療成績も向上しています。当科では常に最新の治療方法を取り入れながら質の高いがん治療を提供しています。先ずはご相談下さい。



滋賀脊椎センターのご紹介

平成23年4月に首・腰など脊椎脊髄疾患の専門治療を行う診療科として、日野記念病院「脊椎センター」がオープンしました。平成25年にはさらに新病棟・新しい手術室・最新の医療機器・外来リニューアルを伴い「滋賀脊椎センター」と名称を改め新たな一歩を踏み出しました。取り扱う疾患は多岐にわたりますが、比較的頻度の高いものとして、腰椎椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、後縦靱帯骨化症、脊椎外傷、脊椎スポーツ障害、骨粗鬆症性脊椎骨折、側彎症や腰曲がりなどの脊柱変形、脊椎・脊髄腫瘍、腰椎分離症、腰椎すべり症、リウマチ脊椎炎などがあります。外来では脊椎脊髄疾患の正確な診断を行い、現代の標準的な治療方針と考え方を提示します。手術の際には専用の病棟に入院していただきます。手術室にはハイビジョン脊椎内視鏡・手術顕微鏡・術中ナビゲーションシステムなどの設備が設置され、より正確で安全な手術を実施するのに役立っています。当院は脊椎内視鏡下手術(MED)や経皮的後弯矯正手術(BKP)の認定施設です。今後、経皮的内視鏡下ヘルニア切除術(PED)の導入も予定しています。

今後も滋賀県の脊椎脊髄疾患の拠点施設としてより多くの患者様や周辺医療施設の要望にお応えすることができるよう心掛けていきます。

内視鏡手術について

当センターは脊椎内視鏡下手術の認定施設です。



経皮的後弯矯正術(BKP)について

「骨粗鬆症に起因した脊椎椎体骨折」に対して、経皮的後弯矯正術(BKP)を当院でも導入しております。



人工透析室のご紹介

当院の人工透析室は1991年(平成3年)6月に開設しました。血液透析は、腎臓の働きの代行をする治療のひとつです。

専用の針を使って血液を取り出し、透析器を通して老廃物や余分な水分を除去し、きれいな血液を専用機で体内に戻す治療です。1回3～5時間の治療を週2～3回行います。当院の透析治療は、透析医学会より推奨された透析ガイドラインをもとに行っています。

外来通院はもちろん、手術等での短期入院から長期療養病棟での入院透析まで幅広いニーズに応えることのできる体制を整えています。もちろん治療には、専門医師をはじめ専門医療スタッフが、患者さまに合わせた質の良い治療を提供し、快適な透析ライフを送るお手伝いをさせていただきます。



外来透析のご案内

※各方面への送迎サービスも行っています。詳細についてはお問い合わせ下さい。

治療クール	外来時間
月・水・金【午前】	8：35～15：00
月・水・金【午後】	14：00～
月・水・金【夜間】	16：45～22：30
火・木・土【午前】	8：35～15：00

- 全25床
- 全床ベッド
- TV完備
- 個別ロッカー完備
- 食事提供(有料)

- 外来通院
- 短期/長期入院透析対応
- 各種アフターケア対応
- 総合診療体制





院長のあいさつ

鈴木 文夫



2017年4月1日付けで村上知行先生の後任として湖東記念病院の院長に就任しました。よろしくお願い申し上げます。

湖東記念病院は地域の救急医療、特に緊急性の高い循環器疾患と脳疾患に対応できる地域の中核施設となるべく2000年10月に設立されました。私は1994年より日野記念病院に脳神経外科非常勤として勤務していたこともあり、開院当時に何回か当院を訪れたことがあります。病院の立地、交通の便など決して条件は良くなく、前途多難と予想したことを記憶しております。しかしながら、地域の皆様の御支援と御協力、関係各位の努力により、私が副院長として赴任した2010年には心臓カテーテルは県の1・2位を争い、県内唯一のガンマナイフが稼働、脳神経外科手術も増加、10年間で大きく発展し、今日に至るまでこの発展は継続維持されてきました。

このように発展してきた当病院には、これからも地域の急性期医療を高度なレベルで継続していく責務があります。今後は脳・心疾患2領域以外でも関係医療機関との相互協力を強め、他領域にも充実した医療を提供できるよう努力してまいります。今後ともご支援、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。



副院長
循環器内科
馬淵 博



副院長
脳神経外科
平井 久雄

2017年4月1日、副院長に就任しました。滋賀県、東近江市、昂会のため粉骨砕身、全力を尽す所存です。御挨拶が遅くなりましたが、改めましてどうか宜しく御願致します。

私は、1993年奈良県立医科大学医学部医学科卒業と同時に循環器内科を専攻して以来、医師人生の大部分はカテーテル治療に専念してきました。のみならず、「求められる時に求められる事を完遂する」を信条に、湖東記念病院の発展とともに歩み、ただひたすら滋賀の医療に動んでまいりました。地域の患者様、先輩医師をはじめ他職種の皆様方に育てて頂いた御蔭で、今の自分があるわけであり、実に気の引き締まる思いです。

当院は、風光明媚な田園地帯にあります。医師をはじめ非常に優秀なスタッフに恵まれ、質の高い医療サービスと充実したアメニティを提供しており、受診される患者様は、地域のみならず県内全域に及んでいます。

今後も質の高い医療を提供するだけでなく、一層の自己変革とパワーアップに邁進し、地域の皆様、医療機関、介護・福祉施設の方々と切れ目のない連携に努めて参ります。そして、医療という枠にこだわることなく、常に社会の要請に応え、進化し続ける医療機関でありたいと考えています。また、これまで取り組んできた急性期医療、救急医療をさらに発展させるだけでなく、今後のビジョンを明確にし、立ち位置の再認識とその中での最大貢献を目指して参ります。

これからも「自分に恥じない生き方で人の役に立つ」ことを実践し、医師として、病院として世の中の理解と信頼を得るべく、安心度の高い誠実な病院を目指し、患者様が安心して医療を受けることができ、御開業や近隣病院の先生方からは、大きな信頼のもとで御紹介頂ける環境を提供できるよう、常に研鑽して参る所存です。何卒御支援の程宜しく御願申し上げます。

この度、湖東記念病院の副院長に就任いたしました。私は平成3年に滋賀医科大学を卒業し、平成12年10月開院と同時に常勤医として湖東記念病院に赴任いたしました。

開院当初は脳外科の常勤医は私一人で、経験も浅く、とても一人前とは言えない状態でしたが、今や常勤4人体制となり、また平成16年には滋賀県で唯一の定位放射線手術装置であるガンマナイフを導入し、他の施設と比べても引けをとらない医療サービスを提供できているものと自負しております。

さて、この春から鈴木先生が病院長に就任され、湖東記念病院も新体制となりました。地域の患者様だけでなく、県内外の患者様にも信頼される病院となれるよう努力を惜しまぬ所存でございますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

最近の心臓血管センターの取り組み

心臓血管センター長
武田 輝規



創設以来、心臓血管センターとしては、特に狭心症や心筋梗塞の患者様へのインターベンション治療（バルーン・ステント治療）に重点をおき、急性期医療に取り組んで来ましたが、この領域に関しては、カテーテル技術、器具の進歩がめざましく、特に2010年以降に使用可能となった第2世代薬剤溶出性ステントでは、5年間での再狭窄率は約4%にまで改善しております。当院における従来型ステントの再狭窄率が半年間で約30%、第1世代薬剤溶出性ステントが5年間で約10%であったことを考えますと、昨今のステントの進化がいかにめざましいものかを実感する結果であります。ただしステント留置だけで良い医療ができたとは言えません。全身の血管に進行してくる動脈硬化をいかに予防するか、特に日頃からの高血圧症、糖尿病、脂質異常症、喫煙、肥満、運動不足などのリスク管理は非常に大切です。また、身体と精神をいかに健康に保つかを考えることも重要であり、体力や筋力低下に対する運動療法や栄養指導は「元気に長生き」につながるという報告がなされています。最近では医師だけではなく、たくさんの医療従事者が患者様と接触し、それぞれの立場で「患者様にとって大切なことは何か、何ができるのか」を考えてチーム医療を実践しています。これまで実施してきた医療のやり方に固執せず、良いことは常に取り入れるような柔軟さを忘れずにこれからもチーム医療をすすめていきたいと考えております。

また御心配なことがありましたら、いつでも当院へ御相談いただければ幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。





院長のあいさつ

竹内 孝幸



当院も行政と皆様方のご指導により帛会指定管理のもと民営化することで 3 年目を迎えることができ、大変感謝しております 1 年目、2 年目で、院外薬局、2 階病棟の再開も出来、一般急性期病院として救急車受け入れも民営化前の 4 倍（年間約 550 件）となり、外来患者数も約 20%増加し、地域医療に貢献できてきているのではないかと考えます。

今後はさらに地域医療に貢献できるよう、帛会の湖東記念病院と日野記念病院をはじめとして、東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、滋賀医大、京都府立医大、京大病院と連携し、以下の特徴を出して行きたいと考えます。

- 1、肝臓・消化器センターを目指し、内視鏡検査・治療を充実させ、消化器外科手術の再開を行う。
- 2、高齢者や小児に対するさらに充実した地域医療に取り組む。
- 3、眼科診療部門を充実させ、眼科白内障・硝子体センターを目指す。
- 4、やけどや皮膚障害等に対する形成外科専門医による専門治療を行う。
- 5、スポーツ整形治療（肩関節、膝関節等）、リハビリテーションを行う。
- 6、在宅医療支援として、看取りや緩和ケア診療を行う。
- 7、さらに、21 世紀の日本の国民病といわれる認知症の患者さまに対する理解を深め、ご家族と協力して、医療を行いたいと考えます。

まだまだ、常勤医師の人員は 13 名と少ないながら、少数精鋭で力を結集し、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、社会福祉士、医療事務スタッフらと協力し、東近江市民の皆様方の期待に応えられる病院づくりを行ってゆきたいと考えております。

県内初！能登川病院に最新の眼底カメラが導入されました！

従来の眼底カメラでは撮影範囲が狭く、広範囲を撮影するためには数枚の写真を撮影し編集する必要がありました。

撮影の為には散瞳が必要で、撮影までに数十分の待ち時間が必要な事、撮影後 4～5 時間ほど眼が見え辛くなるという欠点がありました。

今回導入された「カリフォルニア」は 1 回の撮影で網膜の広い範囲が撮影可能。また散瞳する必要がない為、待ち時間が少なく、また眼が見え辛くなることがない為、検査後に運転して帰ってもらうことが可能です。

オプトス社製

カリフォルニア

optos
California



小児科でスポットビジョン検査開始！

子どもの視機能は生後 3 ヶ月頃から発達し、1 歳半頃をピークに 8 歳頃まで続きます。

視覚の発達にとり、幼稚園頃までが最も大切な時期といえます。この時期に正しく評価し、問題あれば眼科的に治療してあげればいいのです。

能登川病院では小児眼科学会も推奨する機器を導入しました。生後 6 カ月から測定可能で、痛くもなく、瞬時に計測できます。問題ありそうなら、当院眼科が専門的にフォロー致しますので、受付でご相談ください。



形成外科とは？

しわ取りやシミ除去などの美容外科をイメージされる方も多いと思いますが、美容外科は形成外科のほんの一部です。形成外科は皮膚表面すべて（+顔面骨）を扱っている外科で、どのような疾患を扱っているかというと・・・

扱っている疾患

- ・各種外傷（切創、挫創、皮膚欠損、鼻・耳介・瞼の欠損など）
- ・熱傷
- ・瘢痕・ケロイド
- ・顔面骨骨折（鼻・頬骨骨折）
- ・良性腫瘍・悪性腫瘍（脂肪腫・皮膚悪性腫瘍・切除後の組織欠損など）
- ・乳房再建（自家組織・シリコンインプラント・脂肪移植・乳輪乳頭再建など）
- ・アザ・母斑・血管腫（ホクロなど）
- ・難治性潰瘍（壊疽・褥瘡など）
- ・眼瞼下垂・内反症・外反症
- ・顔面神経麻痺後の再建（眉毛下垂、兔眼）
- ・腋臭症（わきが）
- ・先天異常（出べそ、口唇の異常、耳の異常など）

※当院では健康保険の範囲での治療のみを行っております。
脱毛・シミ・肌質改善といった美容治療（自費治療）は、連携病院の日野記念病院をご紹介します。
お気軽にご相談ください。





施設長のあいさつ

中野 善久



このたび平成29年5月1日付けをもちまして、医療法人社団昂会介護老人保健施設リスタあすなろ施設長に就任いたしました。

これまではずっと病院での勤務でしたが、ご縁によりリスタあすなろでお世話になることになりました。私のこれまでの仕事は、画像診断という、一日中パソコンと向き合う仕事でした。パソコン操作にはある程度自信がありますが、この仕事はまったく経験がありません。ただ私は学生時代からずっと体育会系でしたので、体力と気力、新しい仕事に対する興味を持つ気持ちは、ちょっと老けてはおりますが、まだ残っていると考えています。

もとより微力ではございますが、地域福祉の充実発展のため専心努力する所存でございますので、ご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



リハビリテーション科

加齢や疾病により活動量や筋力は低下していきます。基本動作や日常生活の維持・向上、そして、在宅復帰を目的に施設を利用されているすべての皆様に対して、個別訓練を行っています。また、ご自宅にお伺いして在宅での生活を確認して、より実用的なリハビリを実施しています。



当施設には、多種多様な福祉用具や歩行補助具があり、利用者さんに合った機器を使用いただいております。施設生活が快適に過ごせるように、そして在宅生活において安全・安心に暮らせるように提案・指導をさせていただきます。

施設での行事

～獅子舞～



伊勢大神楽様に獅子舞を披露していただきました。皆様無病息災や長生きをお祈りしておられました。

～ハーモニカ演奏～



ボランティアでお越しいただいた今井様です。素敵な音色を披露して下さい、皆様真剣に聴き入っておられました。

～お花見～

今年も施設前の桜が満開に咲き、利用者様にお花見を楽しんでいただきました。





訪問看護

訪問看護は、病気や障がいがあっても「住み慣れた家」で、その人らしく暮らせるよう、必要な看護のケアを提供するサービスです。

小児から高齢者まで幅広い方を対象に、医師の指示のもと看護師がご自宅などを訪問しご本人様や家族様の意思・ライフスタイルを尊重しながら病気の予防支援から看取りまでを支えます。

また、健康に関する課題を早期に発見し主治医やケアマネジャーと連携を取りながら、病気が重症化しないように対応しております。安心して地域で暮らせるよう、私たちが一人一人に寄り添い「笑顔」「真心」「思いやり」の姿勢でサポートします。



*日野町に限らず、東近江市や甲賀市にも訪問しています。
相談だけでも結構です。お気軽に、お電話下さい。



看護部

昂会看護部は、患者様の痛みや悩みを自分の事としてとらえ、真心と誠意をもって、安全で安心できる看護を提供できる看護師を育成しています。平成29年4月1日、17名の新人看護師が就職しました。滋賀県唯一、急性期病院3病院を運営する医療法人社団昂会には老健施設や訪問看護ステーションも含め看護職員444名(看護師288名、看護補助者156名)が勤務しています。

新人看護師は、昂会グループ3病院の『専門性の連携が強い！』で、地域の皆様に安心して頂けるよう、1年間、専門的研修を受講しながら医療・看護の技術を身につけていきます。

昂会看護部は、進歩する専門的診療技術・治療への取り組みと、時代の変化に対応した看護の質を高める努力を日々継続していきます。



4月1日入社式



辞令交付



感染予防技術研修

新人看護師の紹介



湖東記念病院



日野記念病院



能登川病院

平成28年度新人看護師集合研修風景<救急技術>



修了証



新任医師の紹介

～日野記念病院～



外科
仲 成幸
なか しげあき

この度滋賀医科大学外科より赴任しお世話になります。様々な消化器疾患に対する手術や日常の外傷なども含めた外科治療を担当させていただきます。腹腔鏡下手術などの低侵襲治療をはじめ、病状に応じたより質の高い外科治療を提供し、地域の皆様に信頼され安心して任せていただこう努力いたします。常に患者さんの立場に寄り添う丁寧な説明とご納得頂ける医療の提供を心掛けていますので、なんでもご相談頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



滋賀脊椎センター
石部 達也
いしべ たつや

4月から滋賀脊椎センターで勤務しております石部達也です。
昨年度までは、島根県松江市にある玉造病院脊椎外科センターで11年間勤務し、後半7年間はセンター長として脊椎疾患に特化した治療に携わっておりました。以前に高橋忍先生に師事していたことや、自身も滋賀県に長く住んでおりましたので、ご縁があり当院で勤務させていただくこととなりました。
安全かつ高水準の脊椎診療を行う所存です。宜しくお願い申し上げます。



内科(健診センター)
新谷 寛
しんたに ひろし

この度、日野記念病院 健診センター長を拝命いたしました。日本社会は今後、2025年問題を初め、ますます高齢社会となっていくと予想されます。一方、高齢長寿社会となってもやはり、健康寿命をのばすことが医療経済学的にも重要とされます。疾病に対して治療を行うことは重要ですが、同時に予防医学の面からのアプローチも重要な位置を占めることになります。健診センター医師として今までに臨床で培ってきた知識、技量を駆使して職務を全うしたいと思います。どうか、よろしくお願い申し上げます。



耳鼻咽喉科
安岡 公美子
やすおか くみこ

本年4月から日野記念病院・耳鼻咽喉科に赴任して参りました。
以前にも3年近く勤務しており、その後毎週水曜日に非常勤でお世話になっていましたが、再び常勤医として赴任できたことを嬉しく思っています。実は日野を離れていた1年と少しの間に結婚して、以前勤めていたときは「竹澤」という名字だったのが、「安岡」になって戻ってきました。耳鼻咽喉科一般の診療にあたりますが、特に難聴とめまいを専門にしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



皮膚科
山根 尚子
やまね なおこ

この度4月より、日野記念病院皮膚科に着任いたしました山根尚子と申します。平成9年、滋賀医科大学医学部皮膚科に入局し、大学院卒業、関連病院勤務した後、家庭の事情で、平成15年に北海道大学医学部皮膚科に医局を移り、11年間札幌に在住しておりました。平成22年に出産してからは、非常勤勤務で外来を中心に勤務しておりました。平成28年度に、母校である滋賀医科大学に戻り、地域の人々の温かい人柄に触れ、地域医療に微力ながら貢献できたと考え、赴任させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



歯科口腔外科
三宅 真規子
みやけ まさこ

初めまして。2017年4月より、日野記念病院歯科口腔外科の常勤歯科医師として勤務することになりました、三宅真規子です。大阪歯科大学を卒業後2年間、滋賀医科大学医学部附属病院歯科口腔外科に勤務しておりました。周術期口腔機能管理や院内往診による口腔ケアなどを通して、患者さんのサポートをしたいと考えています。何分未熟者ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

～東近江市立 能登川病院～



外科
油木 純一
あぶらぎ じゅんいち

2017年4月より、外科医師として赴任しました油木純一と申します。
外科は、鼠径ヘルニア、痔核、虫垂炎、胆のう結石症から、胃がん、大腸がんなどの手術を扱っております。各疾患に対して診察・検査した上で、患者様に十分納得していただいてから治療方針を提示できるように心がけております。



放射線科
松田 和哉
まつだ かずや

本年4月1日より、能登川病院放射線科の画像診断専門医として赴任しました。
昨今の医療において、CTやMRIなどの画像診断は疾患の原因検査として大きな位置を占めています。当該疾患の診断や、その他病変の早期発見に努めて参ります。当院はもちろんのこと近隣開業医との連携に関してもお手伝いできればと思います。



内科
吉田 寿一郎
よしだ じゅいちろう

初めまして、平成29年4月より着任いたしました、内科の吉田寿一郎（よしだじゅいちろう）と申します。出身は兵庫県姫路市で、平成23年に京都府立医科大学卒業後、初期研修、後期研修とも京都第一赤十字病院で勤務し、平成28年4月より京都府立医科大学大学院生となり、大学での研究も並行して行いながら、この度能登川病院で勤務させていただくこととなりました。学生のころ消化器内視鏡検査や内視鏡治療を見学した際に、まずは画面に映る腸管内の鮮明な画質に衝撃を受け、さらには内視鏡を非常に器用に操作される先生方に魅了されたことがきっかけとなり、消化器内科医となり、現在まで消化器内科、特に消化管や胆膵の内視鏡を中心に診療を行って参りました。能登川病院では消化器内視鏡検査はもちろんのこと、一般内科医として、外来、入院も含めた内科全般の診療を幅広く担当させていただくこととなります。能登川の地域医療に貢献し、皆様のご期待に沿えるよう一生懸命邁進して参りますので、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



求人情報

あなたの笑顔とやさしい心を待っている患者様がいます。
日野・東近江の地であなたの専門性を発揮してみませんか。
ご応募お待ちしております。

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、
社会福祉士、介護支援専門員、介護職員、病院事務

お問い合わせ

医療法人社団 昂会
〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町上野田 200 番地 1
TEL 0748-52-8073

医療法人社団 昂会グループ

【昂会本部】〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町上野田200番地1 TEL (0748) 52-8073 FAX (0748) 53-1206
ホームページアドレス <http://www.subarukai.jp> メールアドレス jim@subarukai.jp

医療法人社団昂会 日野記念病院

住所：滋賀県蒲生郡日野町
上野田 200 番地 1

TEL : 0748-53-1201

FAX : 0748-53-1455

ホームページアドレス

<http://www.hino-hp.jp>



訪問看護ステーション ひの

住所：滋賀県蒲生郡日野町
松尾 988 番地 1

TEL : 0748-52-8161

FAX : 0748-52-8162

ホームページアドレス

<http://www.subarukai.jp/sthino/>

介護老人保健施設

リスタあすなろ

居住介護支援事業所

住所：滋賀県蒲生郡日野町
上野田 246 番地

TEL : 0748-52-6000

FAX : 0748-52-6003

ホームページアドレス

http://www.subarukai.jp/cms_asunaro/

東近江市立 能登川病院

住所：滋賀県東近江市猪子町 191 番地

TEL : 0748-42-1333

FAX : 0748-42-6571

ホームページアドレス

<http://notogawa-hp.siga.jp>



医療法人社団昂会 湖東記念病院

住所：滋賀県東近江市平松町 2 番地 1

TEL : 0749-45-5000

FAX : 0749-45-5001

ホームページアドレス

<http://www.koto-hp.jp>



日野祭 (表紙写真)

馬見岡綿向神社の春の例大祭です。800 年以上の歴史を持つ日野で最も大きな祭で、毎年 5 月 2 日に宵祭、3 日に本祭が行われます。

宵祭は夕刻より各町内の曳山が引き出され、提灯に明かりを灯し、祭囃子が奏でられ、祭気分を盛り上げます。本祭は祭を取り仕切る神子・神調社が綿向神社へ宮入し、神輿、曳山も次々に宮入します。本殿では本祭祭典が斎行された後、御旅所への渡御が行われ、出発の太鼓の音とともに祭囃子や威勢のよい掛け声が響き、祭は最高潮を迎えます。御旅所での祭典斎行の後、還御が行われ神社へ宮入します。夕刻には曳山に明かりが灯され、下り囃子とともに各町内に戻っていき、絢爛豪華な祭の幕が閉じられます。